

仕様伺書

対象形式: JPQ2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOBNo.		承認	作成
貴社名		機番	—		
お名前		営業担当			
注番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

■ 変換器設定項目

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	備考
入力の種類	<input type="checkbox"/> オープンコレクタ有接点スイッチ <input type="checkbox"/> 電圧パルス <input type="checkbox"/> 2線式電流パルス	オープンコレクタ有接点スイッチ	指定なき場合は、オープンコレクタ、有接点スイッチとなります。オープンコレクタ、有接点スイッチ選択時は、検出レベルが2Vとなります。
入力振幅 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	Vp-p (mAp-p)	—	これらの数値は、入力信号波形を正確に把握するために必要なものです。
DC オフセット値 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	V (mA)	—	電圧パルス、2線式電流パルスは、通常検出レベルをDCオフセット値に設定します。(オープンコレクタ、有接点スイッチ選択時は検出レベルが2V固定となります。) 端子間最大入力電圧は50Vです。
ノイズフィルタ	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ノイズフィルタ大は入力周波数が10Hz以下でご使用可能です。有接点スイッチからのパルスを入力する場合、チャタリングによる誤カウントを防止するためノイズフィルタ大のご使用をお勧めします。 ノイズフィルタ小は最大入力周波数が500Hz以下でご使用可能です。 最大入力周波数が500Hzを超える場合はノイズフィルタをご使用できません。
入力ゼロカウント Cz ($0 \leq Cz < Cs$)	Counts	0 Counts	入力0%に相当するカウント数を指定して下さい。 $0 \text{ カウント} \leq (\text{入力ゼロカウント: Cz}) < (\text{入力スパンカウント: Cs})$ の範囲でご指定下さい。
入力スパンカウント Cs ($Cz < Cs \leq 99999999$)	Counts	1000 Counts	入力100%に相当するカウント数を指定して下さい。 $(\text{入力ゼロカウント: Cz}) < (\text{入力スパンカウント: Cs}) \leq 99999999$ の範囲でご指定下さい。
カウントモード	<input type="checkbox"/> 上方エッジでカウント <input type="checkbox"/> 下方エッジでカウント <input type="checkbox"/> 両エッジでカウント	上方エッジでカウント	詳細は取扱説明書の「カウントモードについて」をご参照下さい。
警報モード	<input type="checkbox"/> 上限警報 <input type="checkbox"/> 警報なし	上限警報	警報を使用する場合は、上限警報となります。
警報検出レベル (-15.00 ~ +115.00 %)	%	100.00 %	警報を使用する場合は、-15 ~ +115%の範囲でご指定下さい。
カウントオーバーフロー時の動作	<input type="checkbox"/> 115% ホールド <input type="checkbox"/> 100% ホールド <input type="checkbox"/> リセット	115% ホールド	詳細は取扱説明書の「カウントオーバーフロー時の動作」をご参照下さい。
電源投入後 警報動作までの時間設定 (2.0 ~ 1000.0 秒)	秒	3 秒	電源投入後、警報が動作するまでの時間を設定します。警報を使用する場合は、2.0 ~ 1000.0 秒の範囲でご指定下さい。指定なき場合は、3 秒となります。
電源 OFF 時の 入力カウント数保持	<input type="checkbox"/> 電源 OFF 時に入力カウント数を保持しない(コールドスタート) <input type="checkbox"/> 電源 OFF 時に入力カウント数を保持する(ホットスタート)	電源 OFF 時に入力カウント数を保持しない(コールドスタート)	電源断直前のカウント数を保持するか、保持しないか(初値0に戻す)を設定します。

■ 出力リニアライズに関する項目 (リニアライズが必要な場合のみ (記入例) の様に記入して下さい。)

入力信号(カウント)		出力信号()		入力信号(カウント)		出力信号()	
X(01)		Y(01)		X(11)		Y(11)	
X(02)		Y(02)		X(12)		Y(12)	
X(03)		Y(03)		X(13)		Y(13)	
X(04)		Y(04)		X(14)		Y(14)	
X(05)		Y(05)		X(15)		Y(15)	
X(06)		Y(06)		X(16)		Y(16)	
X(07)		Y(07)					
X(08)		Y(08)					
X(09)		Y(09)					
X(10)		Y(10)					

(出力信号のみデータは % でも可)

〈記入例〉

X(01)	0(カウント)	Y(01)	4.00(mA)	X(09)	80(カウント)	Y(09)	17.58(mA)
X(02)	10	Y(02)	6.37	X(10)	90	Y(10)	18.81
X(03)	20	Y(03)	8.42	X(11)	100	Y(11)	20.00
X(04)	30	Y(04)	10.25	X(12)		Y(12)	
X(05)	40	Y(05)	11.92	X(13)		Y(13)	
X(06)	50	Y(06)	13.47	X(14)		Y(14)	
X(07)	60	Y(07)	14.92	X(15)		Y(15)	
X(08)	70	Y(08)	16.28	X(16)		Y(16)	

■ 入力振幅、DC オフセット値、端子間最大入力電圧について (電圧パルスのみ)

入力振幅と端子間最大入力電圧の関係が表 1 を外れる場合、パルスを検出できませんのでご注意下さい。

入力振幅レンジ (Vp-p)	端子間最大入力電圧 (V)
50 ~ 100	50
25 ~ 50	50
10 ~ 25	25
5 ~ 10	10
1 ~ 5	5
0.5 ~ 1	2
0.1 ~ 0.5	0.5

表 1

例 1) 入力振幅が 2 Vp-p の場合、端子間最大入力電圧は表 1 より 5 V となるので DC オフセット最大値は 4 V となります。

